

# 要 望 書

銚子連絡道路は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）などの高規格幹線道路等と一体となって、千葉県山武・東総地域と首都圏を結び、広域的な交流・連携の強化により、地域経済の活性化や発展に欠かせない重要な地域高規格道路であります。

圏央道については、未開通区間の大栄・横芝間について、令和6年度の開通を目指し、昨年3月からは本体工事が進められており、周辺地域での物流拠点施設や商業施設の立地及び観光客数の増加など、生産性の向上により地域経済に好循環をもたらすストック効果の発現が加速するものと期待されます。

山武・東総地域へもこれらの経済効果を波及させると共に、海と緑の豊かな自然環境から育まれる新鮮で安心安全な農水産物を銚子漁港などの拠点から首都圏へいち早く供給するための輸送手段として、また、災害時等における緊急搬送路として、平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保を図るためにも、銚子連絡道路の一日も早い完成が必要であります。

現在、横芝光町から匝瑳市間の5kmと旭市から銚子市間の旭市側3kmについては、令和5年度までの供用開始を目指し事業が進められており、匝瑳市から旭市間については、昨年度から事業化に向けた環境調査が進められています。

そこで、私ども「山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会」は、銚子連絡道路の早期整備の促進に関し、次のとおり要望します。

- 1 横芝光町から匝瑳市間について、令和5年度までの開通に向け着実に事業を進めること。
- 1 旭市から銚子市間について、令和5年度までの部分開通に向け着実に事業を進めること。
- 1 匝瑳市から旭市間について、早期に調査を完了し、事業化を図ること。
- 1 道路の老朽化対策に必要な予算を別枠で確保するとともに、新たな財源を創設し、道路予算全体を増額すること。